原村菖蒲沢・払沢地区の鏝絵巡り

鏝絵巡りシリーズ菖蒲沢・払沢編

・**距離**　約１５ｋｍ　　・**所要時間**　５時間　　・**スタート・フィニッシュ**　中央線青柳駅

・**コース**

青柳駅（トイレ）ー菖蒲沢（鏝絵 4 件）ー室内公民館ー図書館前公園（昼食・トイレ）ー払沢（鏝絵 11 件）ー原村役場（トイレ）ー判ノ木ー青柳駅（トイレ）

八ヶ岳連峰から西になだらかに傾斜する原村は、標高 1,000mを中心として森林と農用地が広がる自然豊かな村です。東には八ヶ岳、北に霧ヶ峰高原、北西はるか向こうは北アルプス、南には甲斐駒ヶ岳を望み、村のどこにいても四季折々の素晴らしい景観を体感できます。

人々は昔から高冷地での農業に苦労し、漆喰壁の米倉を建て、各家の願いを込めて「鏝絵」を施していました。個性豊かな鏝絵の点在する風景が原村の魅力のひとつでもあります。

今回は中央線青柳駅から広大に広がる農用地をはさんで原村の玄関口：菖蒲沢地区、役場・学校・図書館・スーパーなどが集まる原村中心部の払沢地区の鏝絵を巡ります。数々の鏝絵に加え、きれいに刈り込んだ蔵をすっぽりと覆う防風生け垣もまた蔵の街に彩りをそえ、蔵を大切に守ってきたこの地の人の心をうかがうことができます。

① 菖蒲沢に入ってすぐに目にする大黒様。道路に面していて間近に見ることができます。大黒様は数多くあるけれど、これは配色・肉感、Good！

④ 隣り合わせで、同じ左官さんの手によるという大黒様のそっくりさん。よく見て違いを見つけましょう。

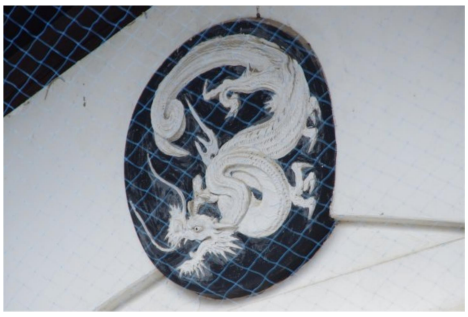
⑦ 蔵の形に刈り込まれた防風生け垣に囲まれたこの蔵にも、生け垣越しに鏝絵がみられます。「蔵を大切にする心」ですかね、こんな姿も美しい。

② ①の道向かい、道路沿いの建物の屋根越しに見える鶴。白漆喰だけで描いたものですが、逸品です。

⑤ 伊豆長八の孫弟子で諏訪地方の鏝絵文化を切り開いた小川天香さんの原村での唯一の作品蔵。小さいながらも繊細で美しい。

⑧ 袋にネズミを集めているのは大黒様でしょうか。珍しい図柄、そして色使い。これもきれいな鏝絵です。

③ ここからは払沢、珍しい図柄の福禄寿です。経年劣化がすすんでいるためかぼんやりした感じ、でも穏やかな表情に味わい。



⑥ 黒地を背景に白漆喰で描いた龍。防護ネット越しに見ることになりますが、これも完成度の高い作品。

⑨ 鶴に乗った翁、こんな図柄も珍しい。以前は白漆喰のみで描かれていたのですが、最近着色をしたようです。

（八ヶ岳歩こう会）